

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	コミュニケーション演習 (Communication Seminar)		
ナンバリングコード	A10304	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 基礎レベル コミュニケーション科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A029051	クラス名	-
担当教員名	高見 大介、杉浦 嘉雄		
履修上の注意、履修条件	第1回に重要なオリエンテーションがありますから、第1回から出席した人のみ受講を認めます。また、第15回は、最終論文を授業中に書いてもらいますから、必ず出席してください。演習のため、授業は講義形式よりも話し合いやグループ学習形式で進めていきます。したがって、話し合いやグループ活動への参加態度が積極的ではない場合には受講停止になることがあります。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	心理学、人間力概論、文章表現基礎講座		

○基本情報	
授業の目的	本講義を通して、「こころの力」「社会人基礎力」「職業能力」「専門能力」の4つの力が結集した「人間力」を育成をベースに、社会貢献や地域の活性化・福祉に必要な実践的な知識・技術を習得します。特に、コミュニケーション能力の育成と人間を見るための視点の修得を目標とします。具体的には、コミュニケーション・スキル、協働、思いやり、自己探求、自己表現、問題解決などをグループでの話し合いや協同学習を通して考え、身につけます。 その結果、知らない人とでも話せるようになること、他者の話を傾聴できること、自己表現できること、他者とも協働しながら問題解決できるようになることを主としてめざします。また、こうした基礎的な力をもとに生きるための力を考えていきます。
授業の概要	各回グループワークなどによる実習や話し合い・協同学習を中心として進めていきます。そこでは、コミュニケーションの基礎として、知らない人とでも話すように努力すること(ほとんど毎回グループ替えをします)、他者の話がしっかり聴けること、大人数の前でも恥ずかしがらずに自己表現できること、他者と協力して作業ができること、さらにそれらが円滑に進むように授業者の指示に応じられることを最重要視します。ときどき、ホームワーク(宿題)を提出させることがあります。成績は、出席(全15回中11回以上)、ホームワークの提出、コミュニケーションへの参加態度および毎回授業中の小論文および最終論文を中心に評価を行います。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「共同担当方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「グループワーク」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	幅広く人間関係やコミュニケーションに関心をもって、積極的に行動している。		60点	
【知識・理解】	コミュニケーションの必要性や適切な人間関係の在り方を理解している。		10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	演習を通してコミュニケーション・スキルを身につけており、表現できる。		20点	
【思考・判断・創造】	どのような状況で、どのようなコミュニケーションが適切か思考・判断し、創造的に行動できる。		10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
毎回の小論文は、意味のある文章であって、かつ350字以上400字を採点基準とします。最高点4点×15回＝60点。フィードバックについては、必要に応じて授業中に全体的に行います。小論文と最終論文の論点・内容は、毎回の与えられた課題に応じて、授業中のコミュニケーションについて考察し、自分に引き寄せて問題解決をめざし、創造的に論じていれば、4点/1回(×15回＝60点)となります。そして、関心・意欲・態度、知識・理解、技能・表現・コミュニケーション、思考・判断・創造の観点から総合的に評価します。小論文については、次回以降の授業中に講評・解説により、フィードバックを行います。最終論文(第15回)400字以上800字以内、意味のある文章であり、かつ題意に沿った記述であれば30点、発想やアイデアがユニークであったり、思慮深く優れていたりすれば10点加点の合計40点とします。

○その他
◆注意 履修人数確認とグループ分けのため、履修登録期限17:00までにユニバーサルパスポートで履修登録を済ませてください。人数が超過する場合は抽選により選考し、履修の可否を登録学生には通知します。
①演習ですから、基本的に対面授業となります。しかし、学生相互の健康と安全を考慮して、場合によっては人数制限(90名程度)もしくは部分的にオンラインで実施する可能性があります。 ②この授業では毎回異なった人とコミュニケーションをしたり、簡単なグループ作業をしたりします。したがって、人と協調してグループ作業などができない人・人前で発表ができない人・人の話を傾聴できない人や「初めて会った人とのコミュニケーションは嫌だ」という人には不向きな科目ですから、履修を考え直してください。ただし、人見知りやコミュニケーションの苦手意識を積極的に克服しようという人は大歓迎です。毎回メンバーをアトラダムに変えて、グループを編成します。そのため、グループづくりに支障をきたしますから、遅刻は数分でも厳禁で欠席扱いとします。 ③毎回、400字程度で小論文を書いてもらい、評価の対象とします。特に、第15回は、期末試験に相当する最終論文を授業中に書いてもらいますから、必ず出席してください。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	コミュニケーション演習 (Communication Seminar) 高見 大介、杉浦 嘉雄	授業コード	A029051
学修内容				
1. オリエンテーション 授業心得・諸注意・授業の進め方について説明します。事前アンケートと小論文の作成を行います。				
予習	「夏休みの思い出、春休みに挑戦したいこと」について考えてきます。			(約2.0h)
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			(約2.0h)
2. グループでの話し合い 夏休みの思い出、春休みに挑戦したいことについて・分かち合い、小論文				
予習	「家庭・家族、出身地の観光地・名物、得意な技術・スキルなど自慢できるものについて」考えてきます。			(約2.0h)
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			(約2.0h)
3. グループでの話し合い 自分の家庭・家族、出身地の観光地・名物、得意な技術・スキル、遊び・趣味など自慢できるものについて、分かち合い、小論文				
予習	「秋らしいもの」について考えてきます。			(約2.0h)
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			(約2.0h)
4. グループでの話し合い 秋探し・裏山小散歩、分かち合い、小論文				
予習	コミュニケーションについて調べてきます。			(約2.0h)
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			(約2.0h)
5. グループワーク コミュニケーションとコンセンサス1、分かち合い、小論文 グループの意見を一致させ、合意に至るコンセンサス法を学び、これを活用して「これは何でしょう」クイズにグループで解答します。				
予習	自分の一番大切なものとその理由について考えてきます。			(約2.0h)
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			(約2.0h)
6. グループワーク コミュニケーションとコンセンサス2、分かち合い、小論文 コンセンサス法を活用して、価値観について話し合ってみます。				
予習	コミュニケーションについて考えてきます。			(約2.0h)
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			(約2.0h)
7. グループワーク 表情・ノンバーバルコミュニケーション、分かち合い、小論文 コンセンサス法を活用して、グループで合意した解決に至ります。				
予習	コミュニケーションについて考えてきます。			(約2.0h)
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			(約2.0h)
8. グループワーク 音楽によるコミュニケーション、分かち合い、小論文 コンセンサス法を活用して、グループで合意した解決に至ります。				
予習	課題の映画について調べてきます。			(約2.0h)
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			(約2.0h)

○授業計画	科目名 担当教員	コミュニケーション演習 (Communication Seminar) 高見 大介、杉浦 嘉雄	授業コード	A029051
学修内容				
9. グループ・エクササイズ 映画を使ったコミュニケーション・エクササイズ1、分かち合い、小論文 映画を鑑賞した後、内容についてグループで話し合います。				
予習	課題の映画について調べてきます。			(約2.0h)
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			(約2.0h)
10. グループ・エクササイズ 映画を使ったコミュニケーション・エクササイズ2、分かち合い、小論文 映画を鑑賞した後、内容についてグループで話し合います。				
予習	課題の映画について調べてきます。			(約2.0h)
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			(約2.0h)
11. グループ・エクササイズ 映画を使ったコミュニケーション・エクササイズ3、分かち合い、小論文 映画を鑑賞した後、内容についてグループで話し合います。				
予習	「生きていくのに必要なもの」について考えてきます。			(約2.0h)
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			(約2.0h)
12. グループ学習 テーマを設定した話し合い1「生きていくのに必要なもの」、発表、小論文 思考ツールであるマインドマップとKJ法を学ぶ。これらを活用してグループで問題解決に至ります。				
予習	「なぜコミュニケーションが必要なのか」について考えてきます。			(約2.0h)
復習	マインドマップやKJ法で、またコミュニケーションで難しかったこと、逆に良かったことなどをまとめます。			(約2.0h)
13. グループ学習 前回作品鑑賞・検討、テーマを設定した話し合い1「なぜコミュニケーションが必要なのか」、発表、小論文 マインドマップとKJ法活用してグループで問題解決に至ります。				
予習	「うまくコミュニケーションをするにはどうしたよいか」について考えてきます。			(約2.0h)
復習	今日のコミュニケーションでうまくいったこと、逆に難しかったことをまとめます。			(約2.0h)
14. グループ学習 前回作品鑑賞・検討、テーマを設定した話し合い3「うまくコミュニケーションをするにはどうしたよいか」→各グループでマニュアル作り」、発表、小論文 マインドマップとKJ法を活用してグループで問題解決に至ります。				
予習	最終論文に備えてワークシートを整理します。			(約2.0h)
復習	今日、コミュニケーションにおいてうまく実行できたことをまとめます。			(約2.0h)
15. 最終論文 前回作品鑑賞・検討 前回までの授業を振り返り、最終論文を作成します。				
予習	ありません。			(約2.0h)
復習	ありません。			(約2.0h)
16. 期末試験 ありません。				
予習	ありません。			(約2.0h)
復習	ありません。			(約2.0h)